



時間のコレクション
飯村茂樹：写真・文
1枚の写真は一瞬を切り取ったものですが、その一瞬を並べてみれば、そこに流れる時間が見えてきます。写真家飯村茂樹が、定点写真で生きた、草木、風景など絶えず変化している自然の姿を丹念に記録しました。

公民館サークルを紹介します

3B体操教室

3B体操とは、ボール、ベル、バスターの用具を使いながら、若さを維持するためのストレッチ（伸展運動）、生活習慣病を予防するために特に大切な全身持久力を高める運動、基礎体力を維持するための筋力運動などを音楽に合わせて集団で行う健康体操のことです。

公民館サークル「3B体操教室」では、乳幼児の親子と一緒に楽しむ「ひよこ」と高齢者まで幅広く参加できる「ココナッツ」の2つのクラスを設け、年齢、体力などに合わせて楽しく健康づくりを行っています。

日ごろの運動不足やストレスを解消に、ぜひ一度体験してください。



☎0869-34-2861

今月の月末図書整理日（お休み）は、3月31日（木）です。
■貸し出し・問い合わせ先
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>

助けてと言えない いま30代に何が NHKクローズアップ現代取材班…編著

派遣切り、ホームレス、孤独死一。社会から孤立する30代が急増しています。なぜ、彼らは「助けて」と声を上げようとならないのでしょうか。就職氷河期世代の孤独な実態を描いて話題になったNHKテレビ番組「クローズアップ現代」を書籍化しました。



Books

邑久高校開放講座

地域住民が高校生に交じって高校で授業を受けることができる学校開放講座を開講します。



開放する講座は、邑久高校3年生の選択授業で、「絵画」「数学基礎」「器楽」の3つ。

一般の人も気軽に楽しめる内容となっています。皆さんも高校生たちと机を並べて、ともに学んでみてはいかがでしょうか。

- ▽期間 4～12月
- ▽時間 45分授業を週2回
- ※「器楽」は週1回です。
- ▽対象 市内在住の人
- ▽募集人数 各講座5人
- ※希望者多数の場合は、選考

または抽選で決定します。

▽受講料 無料

※教材費などが別途必要です。

▽申込方法

受講を希望する人は、3月18日（金）までに、中央公民館で仮申し込みをしてください。授業日程などの詳細が決まり次第連絡しますので、その後正式な申し込みをしてください。

■問い合わせ・申込先

中央公民館

瀬戸内発見伝

巻の七十四

瀬戸内市考古学の先達①

長瀬薫 — 日本初の私設考古館を開設 —

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれている瀬戸内市には、原始・古代からこの地に住んだ多くの先人たちの生活や営みの痕跡として貝塚・古墳・窯跡・城跡などの遺跡が残されています。



邑久考古館内で研究中の長瀬薫氏

瀬戸内発見伝では、この史跡の発見と保存に関わった長瀬薫氏と時實黙水氏2人の本市考古学の先達を2回にわたって紹介します。

約千カ所あるこうした遺跡の中でも我が国の歴史の正しい理解のために欠くことができず、かつ、規模・遺構・出土遺物などにおいて、学術上価値のあるものが国指定史跡に指定されています。

市内では門田貝塚（邑久町尾張）、寒風古窯跡群（牛窓町長浜）、朝鮮通信使遺跡本蓮寺境内（牛窓町牛窓）の3カ所が国指定史跡に指定されています。

横山氏没後は、単独で調査・研究を続け、縄文時代早期の黒島貝塚、縄文時代前期から後期の大橋貝塚、前方後円墳時代前期の群集墳の高砂山古

拠点としました。

【参考文献】
『邑久町史考古編』平成18年

長瀬薫氏とは

長瀬薫氏は、明治26年（1893）5月8日、邑久村（現瀬戸内市邑久町）山手に生まれました。

県立商業学校2年生の時、父親を亡くし、家業の呉服商を継ぐため学校を中退し、その後、大正9（1920）年、洋服業に転業しました。

その傍らで、神社・仏閣の古物や貝塚・古墳に興味を抱き、同好の医師横山精一氏とともに市内はもとより上道郡（現岡山市）、和気郡（現備前市）内で遺物の収集に努めました。



開館当初の邑久考古館

墳群、土器製塩遺跡で「師楽式」の名祖遺跡である師楽遺跡、弥生時代前期の門田貝塚など、今日学史的にも著名な数多くの遺跡の発見に関わり、遺物の採集や保護に努めました。

昭和58年、旧邑久町のさまざまな文化遺産を保存・展示するために、中央公民館の敷地内にあった邑久中学校の旧校舎を改装して、邑久郷土資料館が設けられました。

邑久考古館の開設

昭和11年1月24日、長瀬氏は、門田貝塚の発掘調査資料を母体に邑久村尾張の公設市場の階上に門田貝塚の出土品を中心に約2千点を展示した

日本最初の私設の考古館「邑久考古館」を開設し、邑久地域の考古学研究と資料収集の拠点としました。